

【研究の概要】

【研究テーマ】

多様な「観」を愉しむ外国語活動・外国語科学習

【問題意識】

前年度までの3年間の研究を通して、言語活動における表現を高めていくためには、「自分の考えた表現を仲間に伝え、互いの表現を見つめ直し、どうすればよりよい表現になるかを思考し、再構築する。そして、再構築した表現を再度相手に伝え、また見つめ直す。」というプロセスが有効であることが分かった。

仲間と共に互いの表現を見つめ直して再構築するために、言語活動後に表現の工夫や困り感について全体で共有する場を設けたことで、共有した仲間の表現の工夫や困り感の具体的な解決策を生かしながら互いの表現を見つめ直し、自分の表現を再構築する姿が見られるようになってきた。協働的に学ぶ姿は見られるようになってきたが、仲間の表現に対してどのような評価やアドバイスをすればよいか戸惑う子どもや、仲間のアドバイスを受け入れられなかったり、どのように自分の表現に取り入れればよいか分からなかったりして、表現を再構築するまでに至らない子どもも見られた。これらの姿が見られたのは、仲間の思いや願いを明確に捉えられないことや、仲間の評価やアドバイスが、自分の思いや願いとずれていたことが原因として考えられる。

以上のことから、本研究では、仲間の「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方」にふれ、それらを生かして自分の見方・考え方を深めていくことができる学習指導の在り方について、研究を進めていく。

【外国語活動・外国語科学習でめざす子どもの姿】

前提として表出する姿	コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、「聞きたい」、「伝えたい」等の思いをもつ姿
感じる段階	伝えたいことと言語材料を結び付けて、必要な語句や表現を選択・決定し、自分の思いや考えを伝え合い、自分と仲間の表現を比較する姿
調整する段階	単元ゴールを達成するために、相手や目的に立ち返って、仲間と互いの表現を振り返り、よりよい表現へと高め合う姿

【研究の視点①】

多様な「観」を子どもから表出させるための手立て

【研究内容】

「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方（以後、「観」とする）」について、学習指導要領には、「外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築すること。」と示されている。

子どもが言語活動において、「観」を働かせ、相手意識や目的意識をもち、伝えたいことと言語材料を結び付けて必要な語句や表現を選択・決定したり、それを再構築したりしていくためには、自分の「観」だけでなく、仲間の多様な「観」に出合い、目的や場面、状況等に応じた様々な表現にふれる場が必要であると考えます。そこで、外国語活動・外国語科研究部では、【研究の視点①】「多様な『観』を子どもから表出させるための手立て」に焦点を当て、「仲間の『観』にふれ、自分の表現を見つめ直し、再構築へとつなげるための手立て」について究明する。

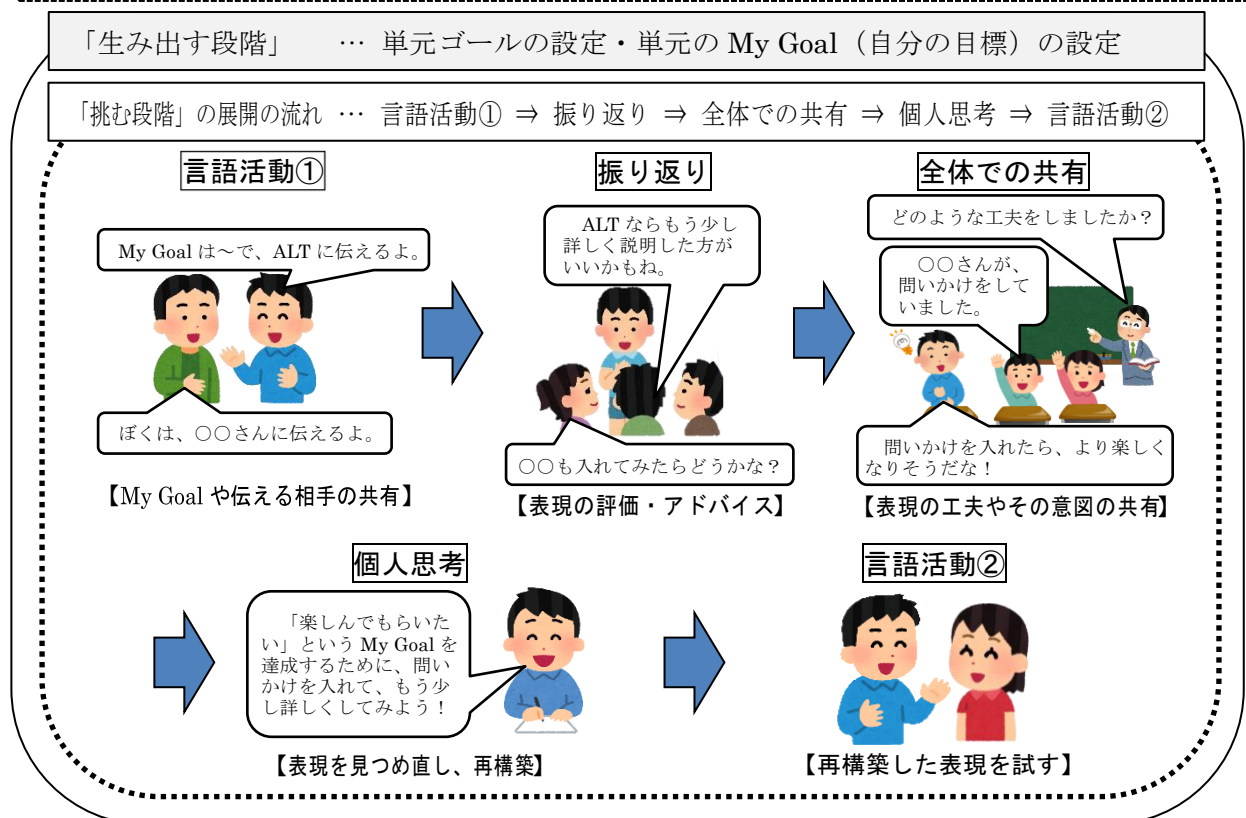
1 仲間の「観」にふれ、自分の表現を見つめ直し、再構築へとつなげるための手立て

前述した通り、言語活動における表現を高めていくためには、自分の「観」だけで考えるのではなく、多様な「観」をもつ仲間と共に考えたり、仲間の「観」にふれた後に、自分の表現を見つめ直したりすることが不可欠であると考え。特に、目的や場面、状況等に応じて、よりよい表現へと高めていくためには、言語活動において仲間がなぜその語句や表現を用いたのか、表現の意図について理解していなければ、適切な評価やアドバイスはできない。

そこで、仲間の多様な「観」にふれ、自分の「観」と比較してその違いに気付き、互いの表現を見つめ直すことができるようにするために、ペアやグループで言語活動を行う際に、**※単元の My Goal (自分の目標)** と伝える相手が誰であるかを伝え合う場を設ける。そして、仲間が選択・決定した語句や表現、非言語的要素の意図について知ることができるようにする。そうすることで、仲間がめざす姿や伝える相手を理解した上で、互いの表現を振り返ることができ、仲間の目的や伝える相手に則した表現になっているかどうかを評価したり、仲間にとって必要感のあるアドバイスをしたりすることができるようにする。

さらに、言語活動の後に、全体での共有の場を設ける。具体的には、仲間との言語活動や振り返りを通して、どのような表現の工夫に気付いたかを問い、やりとりや発表の工夫、その意図やよさについて共有する。そうすることで、仲間の相手意識や目的意識に気付くことができるようにし、My Goal や伝える相手に立ち返って自分の表現を見つめ直し、2回目の言語活動に向けて表現を再構築する姿が期待できるのではないかと考える。

※My Goal… 単元の導入時に、相手意識や目的意識をもつことができるように、「伝える相手にどのような気持ちになってほしいか」「何のために、どのような言語活動ができるようになりたいか」等、自分の目標を記述したもの。



【図1 仲間の多様な「観」にふれ、自分の表現を見つめ直し、再構築へとつなげていく学習の流れ】

このように、仲間の多様な「観」にふれ、自分の表現を見つめ直し、再構築する経験を積み重ねていくことで、外国語活動・外国語科でめざす「多様な『観』を愉しむ子ども」を育成することができるのではないかと考える。子ども同士の学び合いや振り返りの中での発話記録、また、言語活動に向けたメモや終末における振り返りの記述を根拠に、子どもの変容した表現やその要因について捉え、研究の有効性について考察し、検証していく。

1 単元名

I get up at 7:00.

2 単元の目標及び評価規準

(1)聞くことイ、(4)話すこと[発表]ア			
	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
	1日の生活や家での仕事、頻度、時刻を表す語句や表現について理解し、それらの語句や表現を聞き取って話の概要を捉えたり、それらを用いて話したりすることができる。	仲間と互いの生活について伝え合うために、必要な情報を聞き取って短い話の概要を捉えたり、伝える内容を整理して、自分の思いや考えを話したりすることができる。	仲間と互いの生活について伝え合うために、必要な情報を聞き取って短い話の概要を捉えたり、伝える内容を整理して、自分の思いや考えを話したりしようとする。
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
①聞くこと	<p>〈知識〉1日の生活や家での仕事、<u>頻度、時刻</u>(※)を表す語句や表現について理解している。</p> <p>〈技能〉(※)の語句や表現から、話の概要を捉える技能を身に付けている。</p>	<p>仲間の1日の生活について知るために、1日の生活や家での仕事に関するまとまった話を聞いて、必要な情報を聞き取り、話の概要を捉えている。</p>	<p>仲間の1日の生活について知るために、1日の生活や家での仕事に関するまとまった話を聞いて、必要な情報を聞き取り、話の概要を捉えようとしている。</p>
②話すこと「発表」	<p>〈知識〉1日の生活や家での仕事、<u>頻度、時刻</u>(※)を表す語句や表現について理解している。</p> <p>〈技能〉(※)の語句や表現を用いて、自分の思いや考えを話す技能を身に付けている。</p>	<p>仲間と1日の生活について伝えるために、1日の生活や家での仕事について、伝える内容を整理し、相手に伝わるように自分の思いや考えを話している。</p>	<p>仲間と1日の生活について伝えるために、1日の生活や家での仕事について、伝える内容を整理し、相手に伝わるように自分の思いや考えを話そうとしている。</p>

3 単元について

<p>本単元は、自分の1日の生活や家での仕事等について絵本にまとめ、仲間と発表し合う活動を通して、既習の言語材料を活用して表現を工夫し、互いの思いや考えを尊重しながら、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養うことをねらいとしている。</p> <p>本単元は、1日の生活や家での仕事等について仲間と発表し合うことで、仲間の新たな一面を知ることができる単元である。1日の生活や家での仕事等を発表する際に、頻度や時刻、問いかけや好きなこと等の既習の言語材料を生かし、表現を工夫して自分の思いや考えを伝え合う姿が期待できる。</p> <p>本単元は、仲間の思いや考えにふれ、多様な価値観を尊重したり、他者に配慮しながら自分の思いや考えを伝え合ったりする態度を育成することができ、意義深い。</p>

4 子どもについて

<p>子どもはこれまでに、時刻の言い方や“I wake up.”、“I do my homework.”等の日課を表す表現について知り、仲間と伝え合う活動を経験している。前単元では、自分の欲しい物を伝え合う中で、“Why?”や“because”といった表現を用いて理由を尋ね合うなど、既習の表現を生かしてやり取りをすることができるようになってきている。一方で、仲間の表現の工夫やよさについて問うと、アイコンタクトやジェスチャー等の非言語的要素の工夫に気付くまでに留まることが多く、内容や表現の工夫にはあまり目を向けることができていない。そのため、代表のやり取りや発表を基に、仲間の表現の工夫を全体で共有することで、その表現のよさに気づき、自分の表現に取り入れながらよりよい表現へと高めていくことができるように指導を継続している。</p>
--

<p>抽出児について</p> <p>※ <u>個人情報保護の観点から、省略します。</u></p>

5 研究内容

<p>本單元における、多様な「観」を愉しむ子どもの姿</p> <p>自分の1日の生活や家での仕事について、伝えたいことと言語材料を結び付けて、必要な語句や表現を選択・決定し、自分の思いや考えを伝え合い、自分と仲間の表現を比較する姿。</p>	
<p>1 仲間の「観」にふれ、自分の表現を見つめ直し、再構築へとつなげるための手立て</p> <p>本單元では、「自分の1日の生活について伝える My day スピーチ」を単元のゴールとする。My day スピーチで特に伝えたい1日の生活の中での出来事は何か、スピーチを聞いた相手にどう思ってもらいたいかを問うた上で、My Goal を設定する場を設ける。そうすることで、相手意識や目的意識をもって言語活動に臨むことができるようにする。また、言語活動を行う前には、My Goal を伝え合う場を設ける。そうすることで、仲間がめざすスピーチを理解した上で、互いの表現を見つめ直すことができ、仲間の目的に則した内容や表現になっているかどうかを評価したり、仲間にとって必要感のあるアドバイスをしたりすることができるようにする。</p> <p>本時では、教師が仮想の My Goal を伝えた上で、日課の羅列になっている1日の生活を紹介するスモールトークを行い、My Goal を達成できそうかと問うことで、My Goal を達成するためにどのような内容や表現が必要かを全体で考え、共有する場を設ける。そうした上で、グループで言語活動を行う前に、互いの My Goal を伝え合う場を設ける。そうすることで、仲間がめざすスピーチを聞き、仲間が選択・決定した語句や表現、非言語的要素の意図について知ることができるようにする。仲間がめざすスピーチを理解した上で、仲間の相手意識や目的意識に気付くことができるようにし、My Goal や伝える相手に立ち返って自分の表現を見つめ直し、2回目の言語活動に向けて表現を再構築する姿が期待できるのではないかと考える。</p>	

6 単元指導計画（7時間）

段階	主な学習活動及び学習内容	教師の手立て	知・技	語・非語	態
生み出す (1)	1 単元のゴールを設定して、単元のゴールイメージをもつ。〈1時間〉 ○ 教師によるMy dayスピーチ ○ 世界の子どもの1日の生活 ○ 単元ゴールとMy Goal ○ 学習計画	○ 1日の生活や家での仕事を伝えるスピーチを教師が行い、仲間はどのような生活をしていると思うかを問うことで、「知りたい」「伝えたい」等の思いや、単元のゴールイメージをもつことができるようにする。 ○ 1日の生活の中で特に仲間に伝えたいこととその理由は何かを問うた上で、My Goal を考える場を設けることで、相手意識や目的意識をもち、言語活動に臨むことができるようにする。			
	<p>単元ゴール 自分のことをもっと知ってもらうために、1日の生活の中で特に伝えたいことが仲間に伝わる My day スピーチをしよう。</p> <p>My Goal (例) 仲間に野球の練習を頑張っていることが伝わるような、My day スピーチにしたい。</p>				
挑む (4)	2 1日の生活や家での仕事を伝える語句や表現に慣れ親しむ。〈2時間〉 ○ 1日の生活や家での仕事を伝える語句や表現 (1) ○ 尋ねたり答えたりする表現 (1)	○ 身近な人物になりきった1日の生活の発表を教師が毎時間行い、聞き取れた表現やその人物が特に伝えたいことを全体で共有することで、自分や仲間の表現に生かすことができるようにする。 ○ 仮想の My Goal を提示し、それを達成するためにどのような内容や表現が必要かを全体で考える場を設けることで、その経験を生かし、目的意識に立ち返って互いの表現を見つめ直すことができるようにする。	①		① ①
	3 伝える内容や表現を工夫し、自分の1日の生活や家での仕事等を伝えるスピーチを考える。〈2時間〉 ○ My day スピーチの構成 (1) ○ My day スピーチの工夫 (1)	○ 言語活動を行う前に、互いの My Goal を伝える場を設けることで、仲間がめざすスピーチを理解した上で、My Goal に則した評価や仲間にとって必要感のあるアドバイスをすることができるようにする。	②		②
本時 4/4			発言・記述分析		
生かす (2)	4 発表に向けて、グループでリハーサルをする。〈1時間〉 ○ よりよい表現	○ リハーサルの様子を動画で撮影し、仲間と互いのスピーチを振り返る場を設定することで、My day 発表会に臨むことができるようにする。		①	①
	5 My day 発表会を行い、単元を振り返る。〈1時間〉 ○ 仲間の My day スピーチの工夫 ○ 身に付けた力	○ My day スピーチについて仲間と感想を伝え合う場を設けることで、互いの発表のよさを振り返ったり、相手に伝わる喜びや達成感を味わったりすることができるようにする。	②	②	②
			行動分析 発言・記述分析		
			行動分析 発言・記述分析		

7 本時の目標

自分の1日の生活がより相手に伝わるように、伝える内容や表現を工夫して、1日の生活や家での仕事等についての自分の思いや考えを話すことができる。

8 本時の指導過程

学習活動及び学習内容（★は評価にかかわるもの）	教師の手立て
<p>1 前時の振り返りから、本時の見通しとゴールイメージをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 前時の活動と My Goal ○ 本時のめあて <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 自分の1日の生活がより詳しく伝わるようにするために、スピーチの内容を工夫しよう。 </div> <p>2 言語活動に向けて、スモールトークやペアトーク等で、スピーチに生かせそうな表現を出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ スピーチに生かせそうな表現 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>スモールトークの例</p> <p>Hello, everyone. This is my day. I get up at 6:00. I teach English. I play tag with children. After school. I wash the dishes. Thank you for listening.</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ ペアトーク <p>3 試しの My day スピーチを行い、仲間とスピーチの内容や表現を振り返ったり、工夫した表現について全体で共有したりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ グループでの試しの発表（言語活動①） ○ 振り返り（評価・アドバイス） ○ 全体での共有 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>My Goal と表現の工夫の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 頑張っていることを伝えたい → I practice everyday./ I always ~. I practice 時刻 to 時刻. ○ 楽しいことを伝えたい → I like ~./ It's fun./ It's exciting./ I feel good. ○ 大変さを伝えたい → It's hard./ I'm tired. 等 </div> <p>4 My day スピーチの内容や表現を見つめ直し、再度仲間と伝え合う。（★）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 表現の見つめ直し（個人思考、再構築） ○ 他のペアへの発表（言語活動②） ○ 全体での共有を生かした表現の工夫 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>再構築したスピーチの例</p> <p>Hello, everyone. How are you? I'm fine. This is my day. I get up at 6:00. I study English at school. After school. I play baseball on Monday. I love baseball. I practice baseball at 5:00 to 7:00. It's fun. Do you like baseball? I go to bed at 9:00. Thank you for listening.</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 代表のスピーチの視聴 <p>5 本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 振り返り <ul style="list-style-type: none"> ・ My Goal の達成度 ・ 課題や今後の目標 	<ul style="list-style-type: none"> ○ My Goal を確認してから、本時でどのような活動がしたいか問い、My day スピーチに向けて内容や表現を工夫したいという思いを全体で共有することで、本時のめあてにつなげることができるようにする。 ○ 教師が仮想の My Goal を伝えた上で、日課の羅列になっているスモールトークを行い、My Goal を達成できそうかと問うことで、相手や目的を意識した内容や表現の必要性を感じることができるようにする。 ○ 互いの My Goal を伝えてから発表をする場を設けることで、仲間がめざすスピーチを理解した上で、My Goal に則した評価や仲間にとって必要感のあるアドバイスをすることができるようにする。 ○ My Goal と照らし合わせながら表現の工夫とその意図やよさを全体で共有することで、個人思考の際に My Goal を意識しながら伝える相手や目的に立ち返り、自分の表現を見つめ直すことができるようにする。 ○ 全体で共有した My Goal と表現の工夫を基に、伝える相手や目的に立ち返って自分の表現を見つめ直すことができる場を設定することで、言語活動②に向けて表現を再構築することができるようにする。 ○ 個人思考が滞っている子どもには、全体で共有した表現の工夫を示しながら助言することで、自分の My Goal を達成するために必要な語句や表現等を意識して、表現を見つめ直すことができるようにする。 ○ 代表の子どものスピーチを基に、再構築した表現を全体で共有した工夫と結び付けて価値付けることで、表現を見つめ直して工夫することのよさを実感できるようにする。 ○ My Goal の達成度を問い、本時の学びを振り返る場を設けることで、表現を見つめ直して再構築することのよさに気付くことができるようにする。

9 本時の評価規準

自分の1日の生活がより相手に伝わるように、伝える内容や表現を工夫して、1日の生活や家での仕事等についての自分の思いや考えを話している。
(思考・判断・表現②)【発言分析・記述分析】

6/29 (月) Unit 3 I get up at 7:00.

単元の GOAL★

自分のことをもっと知って、さらに
仲良くするために、特に伝えたいことがわかる
ように、My スケジュールをみんなと伝え合おう!

GOAL★

自分のMyスケジュールが伝わるように
スピーチメモを改善しよう!

Small Talk

MY GOAL

楽しい うれい

しぼる



get up



study



play with my friend



watch the globe

sometimes

I like It's fun
I'm happy!

発表のポイント

くわい... 曜日, always.
↑ しぼる.

かばっている... always.
パー
フェクト

伝える... 発音、ゆくり

表情 😊

MY GOAL

楽しさ... I like

大変さ... いそがしい

I practice

It's hard, I'm tired.



伝えたいところ... 強調.

- MY GOAL の達成度は?
- 発表で工夫したところ
- 仲間のよかったところ